

# エコとく通信



エコみらいとくしま広報誌 (第7号) (<http://www.ecotoku.sakura.ne.jp/index.html>)



10月15日に社会実験を実施しました！！

10月15日、小松島市内の5店舗(JA 東とくしま みはらしの丘・あいさい広場、キョーエイ ルピア店、キョーエイ 小松島店、食彩市場 三和、マーケティングセンター こんどう)にて、『レジ袋無料配布中止社会実験』を実施しました。

『レジ袋無料配布中止社会実験』は、各店舗2時間レジ袋を配布しない時間帯を設定し、消費者に「レジ袋をもらわない体験」「マイバッグを利用する体験」をして頂きました。

(※キョーエイ 小松島店のみ2時間半)



社会実験実施に向け、消費者の混乱を避けるために、協力5店舗では、1ヶ月間事前周知啓発活動、啓発グッズ展示、広報誌・広報車でのお知らせ、小学校や衛生組合連合会での周知チラシ配布等、周知活動を行いました。

レジ袋が全く配布されないことによる、消費者からのクレームや来客者数減少が懸念されましたが、実際には約半数の方がマイバッグを持参し、クレーム発生や来客者数の変動もありませんでした。

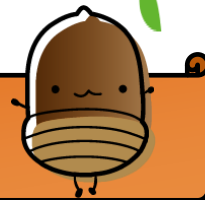
今回の社会実験により、合計2,833枚のレジ袋の削減に成功しました。この量は、原油量に換算すると約135kgの節約となり、CO<sub>2</sub>量に換算すると59.5Lの削減となります。

また、このCO<sub>2</sub>量は、樹齢50年の杉の木約10本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量とほぼ同じです。小松島市5店舗で2時間に配布されるレジ袋の生産・処理のために排出されるCO<sub>2</sub>が、自然にとって大きな負担となってしまうことがわかります。自然と共存するために、『自然に優しいことをしよう』、気軽に始められる「マイバッグ持参」を始めようと思う気持ちが広まることを期待します。



10月15日

## 社会実験セシモニー



10月15日・社会実験当日の午後1時より、JA 東とくしま みはらしの丘・あいさい広場にてセシモニーを開催しました。

セシモニーでは、マイバッグ・マイバスケット作品表彰式に続き、地元バンド『ザ・クリフ』による小松島キャラクター応援ソング「たぬぼんのうた」生演奏に合わせた坂野幼稚園園児たちの歌や踊り披露、社会実験開始テープカットが行われました。

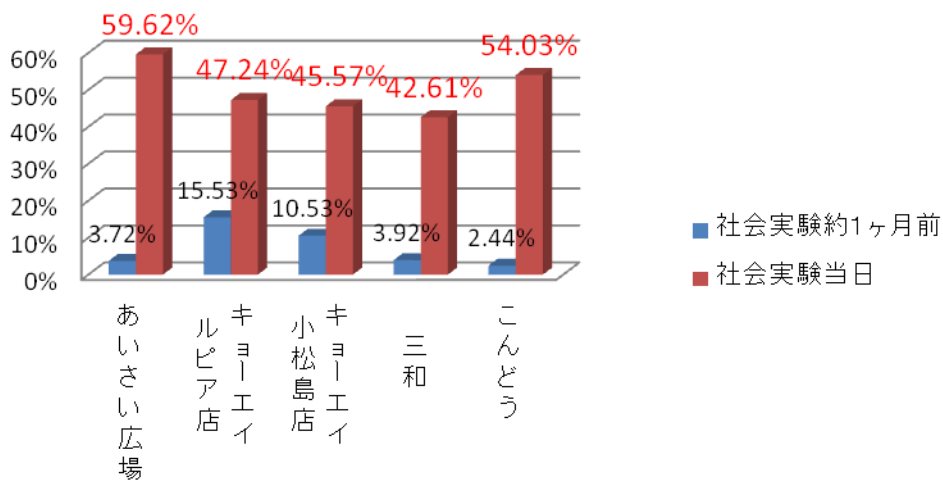
飯泉知事は、挨拶・表彰の後、社会実験実施店内にてマイバッグを使い、お買い物をしました。

セシモニー会場には、「新鮮 なっ！とくしま」号「米っ娘あいさい」号「米っ娘美人」号（販売）3台が史上初めて揃い、試食イベントを実施しました。

季節・地物の食材を使ったメニュー「オクラの磯部揚げ」「おさつチップス」「ネギ焼き」は大好評でした。

当日は悪天候にみまわれましたが、大変多くの方が来場し、会場は大賑わいでした。今回のイベントを通し、エコの取り組みは、『知ること・気がつくこと』から始まり、『それぞれのライフスタイルに合った気軽にできること』から始め、取り組む人が増えていくことが大切であると感じました。

### マイバッグ持参率比較



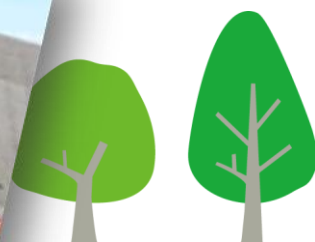
## 『マリンピア・エコハットエコマントの集い』

平成23年11月22日マリンピア北岸にてヒートアイランド現象の緩和生物の住みかの提供、ビオトープ効果などを目指し、郷土種の広葉樹の植林を行いました。当日は、徳島県・エコロジー森を創る会・ecoリーダー会のみなさま、また沖洲小学校の4年生の子ども達100名に参加していただき晴天の下行われました。横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭先生の植林についての講義の後、参加されたみなさんは汗をかきながら、土と戯れ楽しみながら植林をしていました。今後はこの苗木が元気に育って立派な緑あふれる市民の憩いの場になるよう見守っていきたいと思います。

植林の後、徳島県立千年の森ふれあい館事務局長の飯山 直樹先生の講習会が開催されました。徳島県における緑化活動、生態系の修復市民活動、千年の森の運営などについて、実例を挙げてわかりやすく講義していただきました。植林のすぐ後の開催だったので、いつも以上に緑化活動のことが身近に感じることができ、みなさん熱心に受講されていました。先生が最後に言われた言葉で「緑化活動や森づくりも重要だがそれらを通した人の交流も重要である。」とおっしゃった言葉がとても印象的でした。

植林・講習会にご参加頂きましたみなさま、ご協力ありがとうございました。

※このプロジェクトの一部はセブンイレブン記念財団の助成を受けて行いました。



## 『那賀の里低炭素サミット』



平成23年11月18日(金)から3日間、低炭素社会や再生可能エネルギーをテーマにした会合として、地域グリーンニューディールコア支援モデル市町村の一つである那賀町で「那賀の里低炭素サミットin木沢」が開催されました。サミットの期間中には会場の一つである四季美谷温泉にて、県内外の企業等による新エネ・省エネ関連設備や電気自動車の展示・試乗や産学民官協働で行われている低炭素社会構築に向けた対策などのパネル展示などもあり、サミット参加者は最先端の取り組みに興味深く見学されていました。



初日の11月18日(金)は四季美谷温泉にてオープニングセレモニーのあと、「第4回那賀町エコあかりコンソーシアム会議」が開催されました。今回はこれまでの中間報告として、プロジェクトによる成果、木沢におけるCO2排出量に関するライフスタイル調査、エコあかりプロジェクト特徴などの報告がありました。その後は、産学民官の様々な組織に所属するメンバーからの意見を抽出し、ディスカッションが行われました。

二日目の11月19日(土)那賀町役場木沢支所にて「環境リーダー養成講座」と「グリーンニューディールサミット」が開催されました。グリーンニューディールサミットは地域初のグリーンニューディールの推進を目的として開催され、徳島県における研究者や技術者など第一線で活躍するキーパーソンによるホットな話題提供が行われました。また那賀町の今後のあり方について、熱い議論が展開されました。



三日目の11月20日(日)カーボンオフセットミーティングが開催されました。午前中参加者は間伐現場を実際に視察し、森林整備の現状を学びました。午後の第二部は会場を四季美谷温泉に移し、昼食を食べながらのランチミーティングの後、「カーボンオフセット・ビジネス最前線」と題した基調講演が行われたあと、先進事例報告も行われました。最後に参加者を交えた意見交換会が開かれ、参加者は質問したり、情報交換をしたりなど、熱心に参加されました。

## あどぷとエコスクールについて（徳島中学校と大塚グループ3社による）

『あどぷとエコスクール』とは高い環境意識のもと主体的に行動する人材育成を目的とし、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度です。平成23年度は徳島中学校と大塚グループ「大塚製薬(株)徳島本部・大鵬薬品工業(株)・大塚化学(株)徳島本部」が協定を結び「エコみらいとくしま」がそれをコーディネートして、環境学習を行っています。本年度は「川と私・・・地域の水資源・水環境について考える」をテーマに徳島中学校の1年生162名が環境学習に熱心に取り組んでいます。



### ◆9月14日(水)徳島県環境アドバイザーの上月康則先生(徳島大学教授)の講演会 「徳島の水と私たちの生活」

徳島は吉野川をはじめ水の豊かなところであり、水道水は大変きれいで料金もミネラルウォーターより安いそうです。そして、その川の水を汚しているのは主に生活排水だそうです。徳島市には新町川、眉山、吉野川や干潟、沖の洲海浜などすばらしい自然があるので、21世紀は自然を守る世紀にしよう、というお話しをしてくださいました。



### ◆9月27日(火)徳島県環境アドバイザーの中村英雄さん(新町川を守る会)の講演会とひょうたん島クルーズ 「新町川を守る会」の活動についてのお話の後、1年生全員が「ひょうたん島クルーズ」を体験しました。

徳島市は川と橋が大変多く、特に新町川は昔はきれいだったが昭和40年代、50年代に大変汚かったそうです。「新町川を守る会」は川を美しくするために、1年に200回くらい吉野川と新町川の清掃を行っているそうです。そんな川をみんなに見てもらうために「ひょうたん島クルーズ」をしているそうです。



### ◆11月15日(火)新町川、助任川などの水質調査をしました。

1年生が30班に分かれて、22カ所から川の水を採取し、水温や透明度、PH・CODなどのパックテストをし、水質調査を行いました。班員がそれぞれ役割を分担し、手際よく調査を行っていました。何より現地に出かけて川をよく観察することができたことは、生徒の皆さんにとって大変良い体験になったようです。





## とくしま環境学講座Ⅱ（10月～12月）を実施しました！

とくしま環境学講座Ⅱ第2回目では上勝町へ現地視察に赴き、「日比谷ゴミステーション」を実際に見学しながら、ゴミリサイクルの現状について説明して頂きました。



上勝ではゴミを分類表に従って34の種類別に分けていることでした。また「各家庭で洗浄可能な物は洗浄して持ち込み、生ゴミは堆肥化させ持ち込まないことで悪臭をなくしている」「ケースごとに分別の表示をしており、現場で簡単に分別できる」などの工夫がなされており、町内の人々が積極的にリサイクルできる仕組みになっていました。また、ステーションがただの集積場ではなく、コミュニケーションの場としても機能することで町民同士の意識を高める結果になっているとのことでした。



第1回9月17日（土）講師(株)エルゴノミデザインジャパン 代表取締役  
ダーグ・クリングステット

第2回10月1日（土）講師 NPO 法人ゼロウェイスト・アカデミー理事 藤井園恵

第3回10月8日（土）講師 徳島県地球温暖化防止活動推進センター 服部大輔

とくしま環境学講座Ⅱ第3回目では「地球温暖化防止活動～身近な取り組みをしよう」というテーマでCO<sub>2</sub>排出量の現状や削減のアドバイスを講義していただきました。産業部門でのCO<sub>2</sub>排出量は減少傾向にある一方、家庭部門での排出量は増加傾向にあるというデータから、個々人が環境に配慮した活動をする必要があるとあり、それに伴いどのような省エネ方法が有効であるか説明していただきました。また講義の終盤では参加者の方々の家庭でのCO<sub>2</sub>排出量を消費電力から計算で割り出すというワークショップが行われました。排出量の数値は大まかではありましたが、参加者の方々は実際に自分の日々の生活の中でこれほどのCO<sub>2</sub>を生み出しているのかと驚きを隠せない様子でした。ワークを取り入れることで、聴くだけの講義ではなく、より環境を身近に感じられる内容となっており、参加者の質疑応答も白熱したものとなりました。



とくしま環境マイスター講座を開催しました！  
第1回(10月22日)第2回(10月28日)



環境活動、環境学習を率先する人材育成を目的とし、教員、環境活動実践者やこれまでの環境学講座受講者等を対象とした「とくしま環境マイスター講座」が開催されました。

マイスター講座第1回の1限目は「**学校教育における環境学習**」というテーマで新野中学校校長の細川威典先生より講義がありました。現場での環境教育の現状、また取り組みの変遷、そして子供の環境教育に対する認識などを事例を交えて分かりやすく説明していただきました。

2限目は「**徳島の環境(おいしい水、きれいな水から考える)**」というテーマで徳島大学名誉教授、池田早苗先生より講義がありました。高知県の四万十川は最後の清流として有名であるが、徳島には穴吹川を始めとし、四万十川以上の隠された清流が数多く存在することを知って欲しいとのことでした。水は私たちの生活に不可欠であり、その水に関する豊富な知識をこの講座で学べたことはとても貴重な機会でした。

最後の講義は環境カウンセラー協議会の津川なち子先生より「**環境問題とエコライフスタイル**」というテーマのもと授業をしていただきました。地球温暖化について分かりやすく説明して頂いた後、参加者の方々が各自心がけているエコ活動をグループで発表しました。環境マイスターを目指す方々だけに非常に実践的なエコ活動が多く挙げられました。また、意識の高いエコ実践者同士の貴重な意見交換の機会となりました。



マイスター講座第2回の1限目は「**徳島の環境施策(再生可能エネルギーを取り巻く状況について)**」というテーマで徳島県環境首都課久米哲也担当室長より講義がありました。徳島県のポテンシャルについては、日照時間が長く、全国第5位という全国トップクラスの気象条件であり、太陽光発電に適しているほか、小さい急流の河川も多く、森林面積は県土の75パーセントとなっており、再生可能エネルギーの利活用に高いポテンシャルを有しているとのことでした。世界に誇れる環境首都「とくしま」への実現に向けて大きな希望を感じられる講義となりました。

2限目は、とくしま自然観察の会の井口理枝子さんを講師に吉野川河口干潟のフィールドワークを行いました。干潟では全国的にも珍しい「シオマネキ」や「トビハゼ」などの生物を見つつ、参加者の方々は童心に帰ってその生態についての詳しい説明に聞き入っていました。

最後は鳴門教育大学の近森憲助教授に「**徳島県の環境学習プログラム**」について講義して頂きました。環境教育の狙いとは何か？という問いについて参加者それぞれが自分なりにまとめ、意見発表をしました。そして、講義の後半では自分だけのオリジナルの環境学習プログラムを作るワークを行いました。参加者の方達は、全体的な学習内容の設定又学習への動機をどのように持たせるかという問題に苦心しつつ一生懸命プログラムの組み立てを行っていました。

本講座を修了し環境マイスターとなった証として「とくしま環境マイスター認定証」が授与されました。



## \* INFORMATION \* お知らせ&募集案内

### 「マルシェ DE エコ」(1月29日開催)

1月29日(日)開催のとくしまマルシェ(@東新町ボードウォーク)では、『マルシェ de エコ』と題して、様々なエコの取り組みが実施されます。出店約40店舗全店にて、レジ袋辞退者への特典対応が行われる他、新町川清掃等、まちなか美化活動が予定されています。皆さん、エコをテーマとしたとくしまマルシェに是非ご参加ください！

→→→ <http://tokushima-marche.jp/favicon.ico>

### 環境学習教材の貸出

皆様の環境学習に役立てていただくため、地球温暖化に関する啓発パネルや環境DVDソーラークッカー等の環境学習教材等を貸出しています。学習会やイベントなどにご活用ください。

→→→ <http://www.pref.tokushima.jp/kankyo/gakusyu/rental/>

### 環境アドバイザーの派遣

環境に関する講演会、研修会、学習会などを開催したいと考えているみなさん、ゴミ問題など身近なものから地球温暖化、酸性雨など全地球的なものまで、環境問題について幅広くお話しいただける環境の専門家「徳島県環境アドバイザー」を無料で派遣します！

→→→ <http://www.pref.tokushima.jp/kankyo/gakusyu/adviser/>

### とくしま環境学習メールマガジン

とくしま環境学習総合サポート事業(県事業)の一環として、県内の環境学習活動の情報やユニークな取り組みなどを紹介する「とくしま環境学習メールマガジン」を毎月配信しています。配信を希望される方は、エコみらいとくしまへ御連絡ください。(下記 URL からメールマガジン登録フォームによる申込みもできます。)

→→→ <http://www.pref.tokushima.jp/kankyo/kankoubutu/magazine/>

### 広報「エコとく通信」(第7号)

〒770-0873 徳島市東沖洲1丁目23番地

＋———＋ エコみらいとくしま (環境首都とくしま創造センター)

TEL:088-664-6015 FAX:088-664-6033

E-mail: [ecomirai@mail.pref.tokushima.lg.jp](mailto:ecomirai@mail.pref.tokushima.lg.jp)

＋———＋

